

令和 8 年度

第一回進路説明会

令和 8 年 6 月 18 日（木）



佐倉市立臼井南中学校

はじめに

～ 3年生の皆さんへ～

最高学年の3年生となり、中学校生活も残り10ヶ月となりました。いよいよ中学校卒業後の進路を真剣に考え、実現させていくこととなります。皆さんにとって、このような経験はほとんどなかったと思います。自分の能力や適性、進路について今まで学習してきたこと、これから調べることなどから、具体的な進路希望を考えなければなりません。

将来、自分はどのようなことをしたいのか、どのような仕事をしたいのか、自分が進みたい姿や夢を持った上で、義務教育修了後の第一歩としての希望する進路先を考えたいものです。単に実力テストの結果から高校選びをすることのないようにしましょう。

～ 家族の協力も大切～

周囲の人からみれば優秀な子どもでも、つつい厳しい声を掛けてしまうという話を聞くことがあります。お子様が今後、迷ったり、悩んだり、学習が伸びないことに不安になったりすることがあると思います。アドバイスしたり、相談にのったり、一緒に考えたり、勉強の進み具合の確認してあげるなどお子様に合った方法で構いません。進路先を実現させるまでの期間、長い距離を子どもと共に伴走する気持ちで臨んでいただけたらと思います。

～ 中学校として… ～

中学校における進路指導とは、「生き方」の指導だと言われています。生徒が自ら将来のどのように生きたいと考えているのか、それを受けて実現するためのどのような支援や助言ができるか考えます。進路指導を単なる進路先選択にとらえていません。卒業後にどのような進路先に進むことがよいのかを共に考えたいと思います。

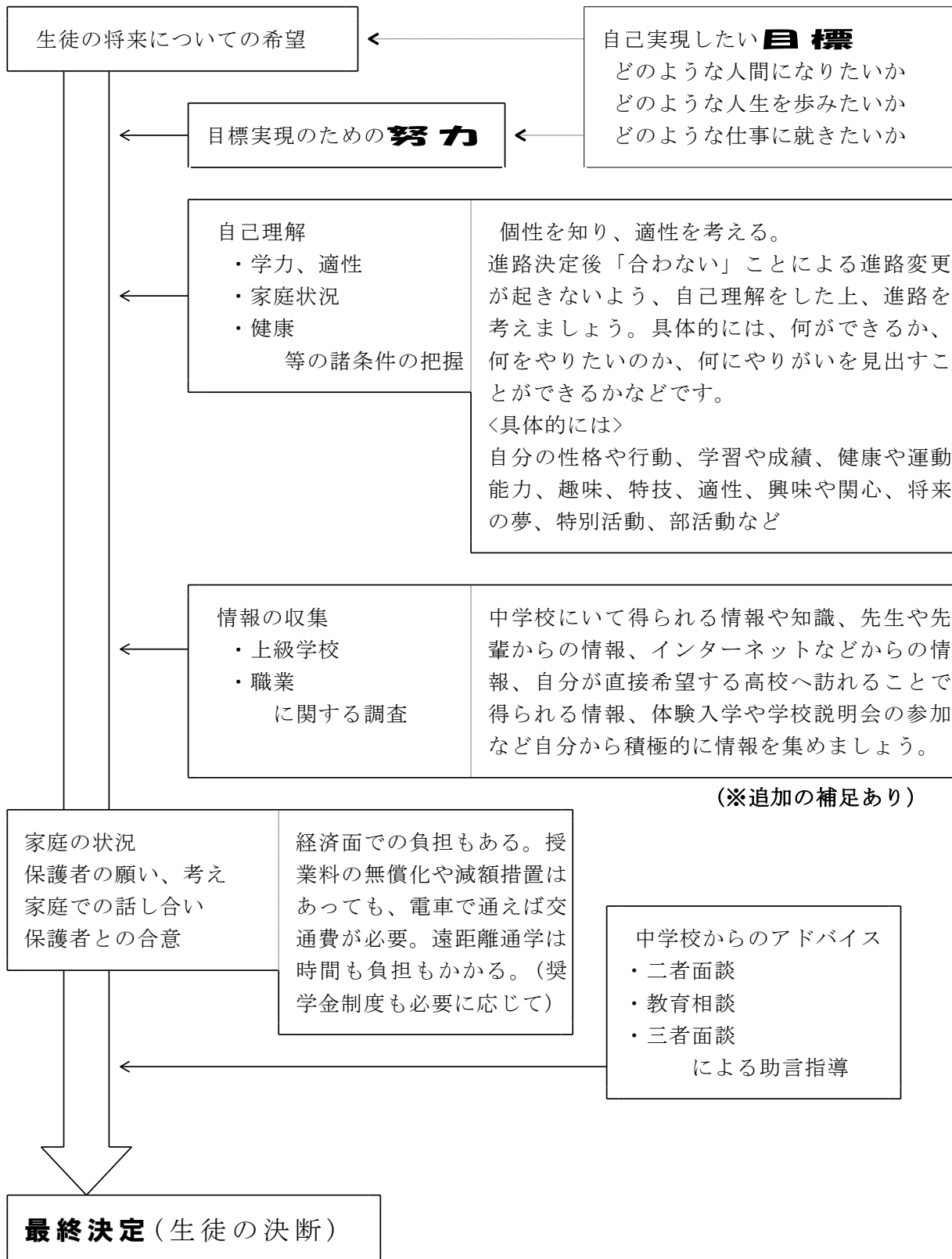
中学校では、生徒がよりよい生き方に向かう選択をするように、生徒の特性を見つける手助けをしたり、励ましたり、注意したり、相談していきます。個々の能力を伸ばし、社会へ出る準備としての生き方を指導したいと考えています。

～ 進路指導の基本的な考え～

- (1) 中学校の進路指導では、生き方指導をしていきます。
- (2) 目先のことでなく、希望する道に進むためには、どうすべきか共に考えます。
- (3) 生徒が主体的に選択決定できるように支援します。
- (4) 目指す進路先に関する情報の収集手順を指導していきます。

1 進路選択にあたって

(1) 進路先の決定に向けて



～情報収集について（補足）～

進路に関する様々な情報を、活用することが大切です。進路だより、進路関係の配布物、「中学校生活と進路」を見たり、進路コーナーや進路室を活用したりして、多くの知識を得ること、先生や先輩から話を聞いたり、実際に進路希望先を訪ねてみることはとても有効です。インターネットなどの情報も利用しましょう。

また、自分の希望する高校へ1度は必ず訪れる必要があります。夏休みが中心となりますが、多くの学校から1日体験入学等の案内が中学校にも届きます。中学校から出される進路情報を参照するだけでなく、該当学校のホームページに案内が載りますから、自分でも調べていきましょう。保護者の参加が可能などころが大半です。よく検討して希望する学校や興味ある学科へ体験入学の申し込みをしてください。

～中学校からのアドバイスについて（補足）～

- (1) 生徒・家庭・学校の三者で最善の進路を考えていきたいと思えます。家庭と学校の信頼関係を基本として、進めたいと思えます。進路に関する情報が氾濫している現状でもあります。不明な点や疑問点は、皆さんが直接、具体的に先生方に聞いてください。もちろん保護者の方から相談していただいても良いです。正しい情報をもとに進路決定にあたりましょう。
- (2) 進路決定に向けた取り組みでは、色々なパターンがあります。特別なケースはなるべく早く中学校へお知らせください。前例のない場合は、事前の調査や準備が必要になる場合があります、時間的に手遅れになる事もありえるからです。可能性が出た段階でお知らせください。中学校としても進路指導会議、高校説明会、ハローワーク等の関係機関との打ち合わせなど連携をはかり、進路情報を最大限入手し、連絡・検討を重ねていきたいと思えます。

～最終決定について（補足）～

- (1) 進路先の決定は本人の意志でと中学校では考えています。本人の責任で決定することで自覚を持たせたいと考えています。
- (2) 保護者は良きアドバイザーとして
自分の人生は、自分の考えと努力によって切りひらくものです。お子さんが目標をたて、努力し、進路先を決定できるよう、良きアドバイザー、協力者になっていただけたらと思えます。お子様と十分な話し合いをし、本人の意志を尊重しながら支えていただき、なにか困ったことがある場合には、中学校と連携していけたらと思っています。

（２）学校選びのポイント

- | | |
|---------------------|---|
| ①何を勉強したいのかをはっきりさせる。 | …普通科、農業科、工業科、商業科、英語科等 |
| ②自分の将来にどう関係があるか。 | …進学実績、就職実績、資格取得状況等 |
| ③どんな学校に行きたいのか。 | …特色、教育方針、伝統など |
| ④通学方法・時間は。 | …自転車、電車、バス、通学時間等 |
| ⑤必要経費はどの位か。 | …入学時、年間授業料、その他諸経費等 |
| ⑥どの位の勉強が必要か。 | …目標の点数、順位等 |
| ⑦その他 | …共学、男子校、女子校
国立、公立、私立、企業
全日制、定時制、通信制、単位制
部活動や諸活動の種類
留学制度の有無
大学指定校、系列校 |

2 卒業後の具体的な進路先例

<進学>

・全日制高等学校	{	公立(県立・市立)	普通科	進学コース
		私立		就職コース
		国立		音楽コース 保育コース

- ・定時制高等学校 (3～4年間)
- ・通信制高等学校 (3年間～)
- ・国立高等専門学校 (5年間)
- ・企業内高等学校 (3年間)
- ・各種、専修学校 (6ヶ月～3年間)
- ・サポート校

専門科	{	農業科 (園芸科・土木造園科など)
		工業科 (自動車科・電気科・建設科など)
		商業科 (情報処理科・食品科学科など)
		英語科・国際科
		理数科
		体育科
		家政科
		その他

<就職>

- ・事業所
- ・ハローワークを通して、縁故など
- ・家業(家事)

中学生の進路は上記のようになりますが、まとめてみると次の4通りが考えられます。

- (1) 高等学校全日制的課程や高等専門学校に進学する。
- (2) 高等学校定時制や通信制課程、サポート校に進学する。
- (3) 専修学校・職業訓練校で職業の訓練を受ける。
- (4) 中学校卒業後、直ちに事業所に就職する、家業や家事に従事する。

このうち、どれかを選ぶことがほとんどです。しかし、高等学校の全日制的課程の中にも、普通科のほか農業科・工業科・商業科・国際科・理数科・体育科・家政科など、数多くの学科があります。その他の進路先にも多種多様の学科があり、就職も含めて、自己の希望や適性を十分考えて、自分にとって最も適切な進路を選びたいものです。そのための決定の手順を考えてみましょう。

3 上級学校の種類と選抜方法

(1) 公立高等学校(県立・市立)

<1>学区について

[全日制課程・普通科] ……受検できる学区がある
(佐倉市から受検できる学区)

- ①第4学区…印旛郡内全市町村(成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町)
- ②第4学区に隣接する学区…第1学区、第2学区、第3学区、第5学区、第6学区
- ③千葉女子高等学校・幕張総合高等学校及び木更津東高等学校は県内全域とする。
- ④市立習志野高等学校(普通科、商業科)、市立船橋高等学校(普通科、商業科、体育科)および市立松戸高等学校

※転居予定の生徒は早めに学級担任に相談してください。

[上記以外の課程及び学科] ……全県一区

- ・全日制の課程の専門教育を主とする学科(専攻科を含む)および総合学科
- ・定時制及び通信課程の全学科

<2>選抜入試制度について

最新情報については適宜、正確なものをお知らせするようにいたします。

千葉県教育委員会ホームページ

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/nyuushi/koukou/r9/index.html>

も参考にしてください。

(2) 私立高等学校

最新の情報の提供に努めます。また、進路室には各学校から送られてくる資料や、各校の催し等のポスターも掲示しています。以下のものは昨年度までのものとして参考にしてください。

<1>学区について 全国どこでも受験可能

<2>出願について 何校でも出願できるが、試験日の重複が多い。
ほとんどの学校がインターネット出願です。

※受験料 15,000円～25,000円前後

<3>試験について(千葉県の場合)

- ・試験日 昨年度は1月中旬～下旬で実施された。
※一部の学校では後期日程があります。
- ・試験科目 高校や科によって異なる(3教科が多い)
※面接試験も学校によって異なる。 ※実技試験を実施する学校(科)もある。

<4>合格発表

- ・試験後1週間以内が多い。
- ・発表方法は学校によって異なる。(web、掲示、郵送、中学校に直接連絡など)

<5>受験の種類

- ①併願…公立高校1校と私立高校、または私立高校を複数志願する場合で、その学校を第一志望としない場合。入試得点は高いものを要求されます。
- ②専願…複数の高校を受験するが、その高校を第一志望とし、合格した場合は必ず入学することが条件。多くの高校で優先的に扱ってくれます。
高校により単願という場合もあります。

< 6 > 入学手続き一時納入金（入学金等 25万円～60万円）

- ・単願、専願の場合は一括納入をしなければならない。
- ・併願は第1次手続きで3～5万円程度を納入して延納願いを提出すれば、第1志望(多くは公立)の発表まで保留できる。最終手続き日までに完納しないと合格が取り消しとなる。
※延納願いや延納手続き金が不要の学校もあります。

< 7 > 推薦入学制度

- ・専願（単願）が条件
 - ・試験日は、高校により様々。
 - ・推薦要件は学校によって多少の差がある。
 - ・選抜方法は中学校長の推薦書、調査書、面接、作文などで決定する。
学力検査や実技検査は学校によって異なる。
- ※併願推薦入試制度を実施している学校もある。〔詳細は学級担任に相談してください。〕

< 8 > 2次募集

- ・公立発表後の手続きの状況によって実施する学校がある。
- ・募集人員はきわめて少ない。実施日は公立高校発表直後が多い。

(3) 専修・各種学校

- ・期間 1年～3年間 ・資格に直結していることが多い。
 - ・定時制、通信制への通学が可能なところが多い。
 - ・入試期日 12月頃から数回実施するが、定員がうまると募集を終了する。
 - ・試験科目 筆記試験と面接
- ※費用は私立高校並かやや高め。調理、服飾等の希望が多い。理容、美容は高卒以上の資格が必要な場合が多い。

(4) 木更津工業高等専門学校（国立）

- ・学科（定員）
機械工学科（40） 電気電子工学科（40）
電子制御工学科（40） 情報工学科（40） 環境都市工学科（40）
- ・期間 5年（卒業後、大学3年に編入できる制度もある）
- ・推薦入試制度がある。
- ・工業高等専門学校の3年生修了時の編入や4年生を対象にしたインターンを行う技術科学大学（国立）がある。
- ・入学時納入金 約22万円
- ・学寮あり（食費（3食）を含めて月額約6万円）

4 就職について

- ・試験は、多くの場合、国語と数学です。面接が重視されます。
- ・縁故関係で就職する場合でも、ハローワークを通した方がよいと思います。
- ・求人件数は少なくなっています。

実施項目	実施主体	実施日	備考
求人情報の提供	ハローワーク成田	8月～11月	求人一覧表
職業相談	ハローワーク成田	10月～11月	生徒・保護者
応募者の選考		10月～3月	各事業所

職業訓練校応募		1月～	2月	
---------	--	-----	----	--

5 過去の進路状況について

令和4年度卒業生～令和7年度卒業生の入試状況

(1) 県内公立高等学校

①入試の状況

卒業年度	4年度	5年度	6年度	7年度
志願者	91名	69名	84名	78名
受検者	91名	69名	84名	78名
進学者	72名 (79.1%)	56名 (81.1%)	66名 (78.6%)	65名 (83.3%)

②二次募集の状況

卒業年度	4年度	5年度	6年度	7年度
受検者	0名	1名	1名	1名
進学者	0名	1名	1名	1名

(2) 私立高等学校

卒業年度	4年度	5年度	6年度	7年度
進学者	36名	32名	48名	39名

(3) その他 (年度は卒業生の年度です。)

卒業年度	4年度	5年度	6年度	7年度
他県の公立 高等専門校 サポート校 在家庭、その他	3名	7名	1名	12名

卒業年度	4年度	5年度	6年度	7年度
進学者	111名	98名	116名	115名

6 進路決定までの予定

月	学校行事	進路関係行事
4	始業式(6), 入学式(8) 対面式(10) 授業参観日(16) 全国学力学習状況調査(22, 23, 28) 部活動保護者会(28~5/6)	進路計画検討
5	修学旅行(7~9) 体育祭(28)	
6	定期テスト①(10, 11) 教育相談(16~24)	第1回進路説明会(18)⇒生徒用・保護者オンデマンド 第1回実力テスト(19) 第1回進路希望調査(19~30)
7	総合体育大会開始 保護者面談(2, 6, 9, 13, 16) 部活動壮行会(3) 学年集会(17) 夏季休業(21~8/31)	第1回三者面談(2, 6, 9, 13, 16) ※1 高校見学(夏季休業中)⇒生徒・保護者 ※2
9	学年集会・防災訓練(1) 定期テスト②(9・10)	第1回記載事項確認書(1~中旬) 第2回実力テスト(18)
10	生徒会役員選挙(1) 終業式・前期通知票配付(9) 始業式・生徒会本部任命式(13) 南陽祭(28)	第2回進路希望調査(1~7) 第3回実力テスト(7) 第2回進路説明会(16)⇒生徒・保護者向け 私立高校合同説明会(10月上旬)⇒教員対象 二者面談⇒第2回進路希望調査を元に生徒と面談 第2回三者面談(22~29): 私立受験校決定 ※3 ⇒第2回進路希望調査を元に面談します。
11	定期テスト③(4・5) 1・2年生校外学習 1・2年生保護者面談(希望制)	第4回実力テスト(13) 受験校確認書(中旬) 三者面談(24~27 希望者のみ)
12	学年集会(23) 冬季休業(24~1/6)	面接指導(1) 第2回記載事項確認書(2~9) 第5回実力テスト(11) 私立高校入試相談(15~)⇒教員対象 県内私立出願⇒生徒
1	学年集会・防災訓練(7)	県内私立入試開始(16~)
2	1・2年生定期テスト④(16, 17) 予餞会(26)	公立出願(2~4)⇒生徒 公立志願変更(9, 10)⇒生徒など 公立入試(16, 17) 公立追検査受付(19, 22)⇒生徒 公立追検査(25)
3	卒業式(11) 修了式・離任式(24)	公立入試発表(2)⇒生徒 公立二次募集出願(5)・志願変更(8) 公立二次入試(10)・発表(12)

進路決定までの予定表中の追加説明（※印）

※1 第1回三者面談について

◎夏休み前に以下について三者面談を行います。

（生徒から）

- ・現時点での進路希望の確認

（保護者から）

- ・進路に関する保護者の方針等について

（担任から）

- ・第1回実力テストの結果から、今後の学習の仕方について
- ・学校生活について
- ・その他

※2 高校見学会、体験入学及び高校説明会について

- ①夏休み以降、公立私立とも多くの高校が実施します。必ず、参加するようにしてください。
- ②例年、6月以降高校より案内が来ています。各クラスや進路室を通じてお知らせしています。また、2F進路室外の壁面にもポスターを掲示しています。保護者の方もどうぞ足をお運びください。
- ③参加希望の高校への申込みは一部の学校は、中学校が一括して行います。申込みが不要の学校や、各個人でネット等を使って申し込む場合もあります。希望する学校の形式をご確認ください。また、どのような形式の場合も、学校で把握しておきたいと思いますので、本校所定の申込用紙に記入の上、学級担任に提出してください。
- ④きちんとした服装や挨拶、態度で参加するようにしましょう。参加する生徒一人一人の行為が、臼井南中学校全体のイメージに大きな影響を与えます。
- ⑤参加後、記録用紙をまとめて中学校に提出してください。今後の重要な参考資料になりますので、協力をお願いします。

※3 第2回三者面談について

- ①前期の評価や調査書評定等、今までの学習の成果、高校見学等の結果をふまえて、進路希望先を決定いたします。私立高校は12月中旬より事務手続きが始まる学校もありますので、公立高校の希望も含め面談させていただきます。
- ②三者面談の前に第2回進路調査及び二者面談を実施いたします。

7 3年生の学習について

1 学習意欲を向上させるために

- (1) 将来の目標、高校に行く目的を考えよう
何の為に学習するのか、高校へ行くのかははっきりした答えが出なくても、自分なりに考え、目的意識を持ちたいものです。
- (2) 自分の生活をコントロールする力をつけよう
学習意欲のある生徒は、自分で自分の生活を考えて計画的に一日一日を過ごすことができます。自分で自分の生活をコントロールする力をつけていくことが、今後の学習へ大きく影響してきます。

2 3年生の学習・3原則

- (1) 計画的に学習する
限られた時間を有効に使うためには、今後の見通しをたてた大まかな計画と曜日ごとの活動時間帯を考えた細かい計画が必要です。
- (2) 授業を大切に
3年生の学習は、後でまとめて復習する時間は十分あるわけではありません。授業が勝負です。
- (3) 毎日復習する
1日経つと覚えたことの7割は忘れてしまうといわれています。その日、授業でやったことは必ずその日のうちに復習するのが効果的です。

3 学力をつける特効薬

- (その1) 根気が最大の武器である
「学問に王道なし」「継続は力なり」のごとく、すぐ効果の表れる特効薬はありません。効果が表れるのには最低3ヶ月はかかるでしょう。学力をつけるには、根気強くやるしかないのです。学力は素質とか能力というより、どれだけ頑張るか「根気の問題」です。
- (その2) 苦手教科を克服しよう
得意な教科はいつも良い点をとっていて、勉強も思ったように進むものですが、苦手意識を持っている教科は満足できる点を取れていないと思います。それは、意識的にどうしても苦手教科が後まわしになりがちだからです。ですから、後まわしにせず、新たにやる気を起こし頑張れば、ぐっと点数を上げることでできる可能性があります。

8 おわりに

1 進路最終決定は生徒自身

繰り返しになりますが、進路の最終決定は生徒の皆さんが自分で行いましょう。自分で責任を持って、実現させていく大切な決断です。

2 自分自身に過大な期待、優柔不断は考えもの

目標とする高等学校の基準を高くして頑張ることが、良いことだと固執していることがあります。進路決定の時期になっても、現実を考えないのは良くないと思います。理想は余裕を持って高校生活を始めることです。また、現実を直視せず決めきれない場合も目標が定まらず学習に集中できかねません。時期が来たら、目指す目標を定めましょう。

3 早寝早起き、朝ご飯

生活リズムを規則正しく保つことは、学習を進める上でとても大切です。心身共に健康で、安定した生活時間、食習慣を過ごせることが目標に向かう基本姿勢となります。また、受験勉強で夜に多くの時間を使うのは、本人はやっている気になっても効率が悪いと言われていきます。早起きして朝型の学習ができるように心掛けましょう。

4 受験期は不安やストレスがつきもの

高校入学を目指して、頑張る時期は不安になったり、何かとストレスが溜まる時期です。自分だけではない。不安を感じる具体的な例を挙げてみました。参考にしてください。

☆4月～8月

- ①自分の勉強が思うように進まず、何をやっていいのかわからない。
- ②卒業後の進路が漠然としていて、わけがわからず不安である。
- ③親や先生と進路について相談をしたいが、何を話していいかわからない。
- ④何が心配なのかわからないことが不安。とにかく受験は不安で怖い。

☆9月～12月

- ①成績が伸びない。
- ②進路の決定を迫られるが、どうしたらいいのかわからない。
- ③親や先生と自分の意見が合わない。
- ④わけもなくイライラして怒りっぽくなる。

☆1月～3月

- ①「〇〇君はどこへ行くんだろうか。」「▲▲さんはきっと頑張っているんだろうな。」
「もし落ちたらどうしよう。」などと、考えたところでどうにもならないことばかり考えている。
- ②進路希望先は決まったが、本当に大丈夫かどうか不安である。
- ③調査書はどうだろうか。

ここに挙げたもの以外でも受験に関して多くの悩みや不安がつきものです。みんなもそんな中で頑張っているはず。自分も一歩ずつできる努力をやっていこう。